

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		クラッシーノこうし運営支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	政策部	課長名	井村 幸弘
	施策	12	商工業の振興		所属課	商工振興課	担当者名	木部 幹久
	基本事業	36	生産・販売力の強化		所属班	商工振興班	(内線)	1272
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民生活と産業の活性化に向けて、あらゆる産業や企業と連携を図り、健康的で付加価値の高い地域の創出に積極的に取り組んでいくことを目的に、商社機能を強化した一般社団法人合志市観光物産協会として平成25年4月1日に発足した。平成26年4月には一般社団法人クラッシーノこうしに名称を変更し、事務所をユーパレス弁天内に構え実質的な活動を開始した。 本事業は補助金交付や市事業との調整などを行なうものである。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・補助金申請受付、交付決定、概算払い(2回)、実績報告、確定通知、精算 ・理事会への出席 ・市事業との調整を図るための事務協議(随時)
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	補助金概算払(2回)、運営や秋祭り開催のための事務協議、理事会への出席	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 補助金概算払、運営などのための事務協議、理事会への出席
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回	予算の主な増減の理由
→ア:事務協議回数	回	補助金の減
→イ:理事会出席回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	クラッシーノこうし	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)
		→ア:会員数
		→イ:社
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健全な経営ができる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)
		→ア:繰越剰余金
		→イ:千円
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
①活動指標	ア	回			24	24	24	24	24	24	
	イ	回			4	7	4	4	4	4	
②対象指標	ア	社			30	31	60	66	73	80	
	イ										
③成果指標	ア	千円			2,900	4,243	3,725	4,030	4,567	6,520	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円					6,047	6,606	6,606	4,400
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円			22,403	11,553	6,594	2,194			
	(A)事業費計	千円			22,403	0	17,600	13,200	8,800	4,400	
人件費	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人			2	3	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間			160	190	160	160	160	160		
(B)人件費計	千円			637	756	637	637	637	637		
トータルコスト(A)+(B)	千円			23,040	756	18,237	13,837	9,437	5,037		

事務事業名	クラッシーノこうし運営支援事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 利益維持・向上が期待されるため。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 通販サイト構築等の新事業を実施するため、利益向上の余地がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似の事業がないため
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 利益の増加が、補助金の減少につなげることができる。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員で対応しているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民生活および市内産業の活性化を図るための事業として実施しているため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 クラッシーノこうしの設立により、適正な役割分担が図られている。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

26年度に本格的な活動を開始した。今後、自立して発展するよう積極的な連携を図っていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

【有効性改善】利益を増加し、クラッシーノこうしの設立目的に合う活動ができるよう、密接に連携を取り、支援を進めていく。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

クラッシーノこうしは物販事業を主体としているため、周辺のスーパーとの競合が発生する。利益を維持・向上させていくためには魅力的な商品の開発・販売が求められる。そのため、市との密接な連携が必要である。